

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 令和 5年 9月 9日
(124号)

中之島ニュース

[事務局]
〒567-0861
茨木市東奈良2-7-10|
人間学塾・中之島
古田修平

祝 人間学塾・中之島 第十二期開講！



成長し続ける楽しみを
代表 中川千都子

第12期人間学塾・中之島
へのご入塾、まことに
おめでとうございます。

新たにご入塾された皆様、前期よりご継続された皆様、どなたもこれから始まるスケジュールを前に、期待に胸をふくらませておられるのではないのでしょうか。どの月もけっして皆様の裏切ることのない、おそらくは想定されておられる以上の豊かな学び、濃密な時間となりますことを自信を持ってお約束いたします。

さて、当塾も14期まで続いた伝統ある学び舎・天分塾から引き継ぎ、人間学塾・中之島として新しくスタートを切って12年目を迎えました。

今日という日を迎えるまでの道のりは必ずしも平坦ではありませんでした。殊に令和元年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、わずか数か月のうちにパンデミックと呼ばれる世界的な流行となったことはご存じのとおりです。我が国においても「緊急事態宣言」の発令がなされ、全ての人々の生活が一変、不自由を強いられました。塾においては、県を越えて講師をお呼びすることも、塾生の皆様に集まっていたこともできない期間が長らく続き、その間にせっかく入塾しながら気持ちの離れてしまった方もおられました。塾は存続の危機に陥ったかと思われ

「逆境は神の恩寵的試練なり」

“学び”が本領を発揮するのは、平穏な日々の中ではなく有事のとき。私たち世話人は休塾中もオンラインを駆使し意見を交換し、知恵を出し合い、真心を尽くして塾の運営に努めました。そうして第8期、9期、10期を乗り切り、さまざまな点において改善を試みながら、第11期には新たな塾生も多数お迎えすることができました。その卒業式ではたくさんの皆様から「入塾してよかった」「迷わず継続します」等々の有り難いお言葉をいただけることができました。

人生、思いがけぬことが起こるのは世の常です。森信三先生は起こる事柄はすべてが絶対必然であり、最善である、と言われました。そしてさらには、そこに隠された神の意図を読み取り、自己に与えられた運命を感謝して受け取って、天命を楽しむようにと語りかけてくださいます。なんと力強い言葉でしょう。この真理の言葉を胸に、この場に集う皆様とさらなる学びを深めてまいりたいと思えます。一年後の新たな成長を共に楽しみに。どうぞよろしくお願いいたします。



「前を向いて動く」
副代表 古田修平

人間学塾・中之島第12期、
ご入塾、まことに
おめでとうございます。

新しく入塾された皆様、どういう塾なのか、期待と希望と不安の中で入塾されたことと思います。この一年が皆様にとって、素晴らしい年となれることが目に浮かびます。なぜなら、この人間学塾・中之島の扉を開けて入

塾されたのですから・・・。
継続で入塾された皆様、第12期も、共に学び、実践しましょう。

一年前のことを思い返しますと、まだまだ、コロナ禍の中でした。そんな中で、第11期はスタートしました。各月の講師の先生方の講義は本当に素晴らしい内容でした。それにも増して、塾生の皆さんの受講されている姿を拝見していますと、月を追うごとに、生き生き楽しく受講されていました。第11期は、本当に実のある期であったと思います。

特に、コロナ禍でカリキュラムが短縮されていたましたが、今年の一月より、グループ討議が復活しました。講師の先生の講話を聴き、講話に対しての感想をグループ討議で話し合い、発表します。このグループ討議がとても新鮮で、塾生の皆さんに浸透してまいりました。塾生の皆さんと講師の先生との距離が一気に近くなり、一体感を憶えました。塾生の皆さんから出ているエネルギーの波動が、ますます高くなってきたのをこの一年を通じて感じました。

さて、九月より第12期がスタートします。私自身、人間学塾・中之島に十一年、前身である天分塾の十年を加えると、二十年を越えますが、今までで最も楽しみと希望に溢れる心境で入塾式を迎えます。数年前は、何とか塾を継続して行けるように、と思った時期もありましたが、今は、人間学塾・中之島の未来は限りなく明るいと感じています。

この一年、塾生の皆様にとって、どんな素敵な体験が訪れるのか、登壇される講師の先生方の講義からなのか、一緒に学ぶ塾生の方々の出会いからなのか、本当にワクワクしてきます。



人間学塾・中之島の第十二期へ
のご入塾、おめでとうございます。

平成二十四年九月八日、前身となる天分塾を継承して船出した人間学塾・中之島は、通算二十五年の月日を経て新たなステージに向けた歩みを始めることになりました。当時、天分塾の発展的解消について、寺田一清先生は次のように書かれています。

「いま日本の政治・経済・外交面においても直線的発展は、期すべきもあり得ないことで、循環的起伏は不可避なことであります。そうした転換期において処すべき態度とは、（中略）つねに漸進的刷新の意欲を持って対処すべきであります。」

世話人一同、新たなステージに向けて工夫と知恵を絞り出してまいりますので、塾生の皆様におかれましては、これまでも増しのご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。皆様からのご意見や塾運営への積極的なご参画、また、新しい道縁の橋渡しをしていただくことが次のステージへの大きな力になります。人間学塾・中之島が受け継いで来た深き伝統を想う時、師恩の光への感謝の念が湧き上がってきます。第十二期開講

古人は学といえ、必ず聖人たらんことを志したものです。しからば今日われわれ日本人として、いやしくも学問修養に志す以上、われわれのもつ偉大な先人の踏まれた足跡を、自分も一歩なりとも踏もうと努め、たとえ一歩でも、それににじり寄ろうとする気概がなくてはならないと思うのです。

人間学塾・中之島という非日常空間、道友との絶対必然のご縁、そして生き方の道場を与えられた大恩に感謝しつつ、魂が喜ぶ一年にしてまいりましょう。

第12期の世話人については、次のとおりです。何卒、よろしくお願いいたします。また、何かわからないことやご相談等ございましたら、お気軽にお声がけください。

子都平 夫枝幸美之司 博郎
 千修学昌宏俊直浩啓泉正三
 川田本藤藤村路本原田水川
 中古松加近西山福柴嶋清細
 表表表人人人人人問問
 代代話話話話話話話話話
 代副副世世世世世世世顧顧



新規塾生 大募集

途中からでも入塾できます！

友人・知人・ご家族・親類！

是非、ご案内を！

第十二期登壇講師

第十二期の登壇講師を改めてご紹介します。

敬称略

- 麗澤大学特別教授 織田 邦男
○修養団伊勢青少年研修センター所長 武田 数宏
○薩摩川内市下甕手打診療所所長 齋藤 学
○志ネットワーク代表 上甲 晃
○(株)新宮運送 代表取締役 木南 一志
○臨済宗円覚寺派管長 横田 南嶺
○実業家・著述家・歌人 執行 草舟
○作家 石川 真理子
○(株)行動科学研究所 所長 岩田 洋治
○元新島小学校校長 市川 英俊
○(株)ことほぎ代表 白駒妃登美
○人とホスピタリティ研究所所長 高野 登

各講師の経歴等はパンフレットをご参照ください。今期も豪華講師陣です。乞うご期待！

第11期 人間学塾・中之島 卒塾式



第11期人間学塾・中之島卒塾式が令和5年8月12日、大阪大学・中之島センターにて開催されました。中川代表のご子息中川拓真さんのギター演奏もあり、今までと一味違う卒塾式に！
久しぶりの塾主催懇親会も開催され、大いに盛り上がりました。



皆勤賞！
おめでとうございます！



卒塾証書 授与



懇親会 司会
山路直美世話人
ありがとうございます！



ギター演奏 中川拓真さん
めっちゃ男前やん！



寺田先生に導かれて 近藤宏枝

「たねまき文庫」は『立腰のすすめ』から寺田一清先生の隠れた名著と言える、僅か縦135ミ横90ミの冊子。「たねまき文庫」は、平成十一年一月に『森信三先生のことば 立腰のすすめ』を第一集として発刊され、平成二十六年五月『生きる力の「四文字熟語」』第三十五集で終えられましたが、今も全三十三巻として私達を導いて下さっています。

この文庫はまず何を置いても、森信三先生の第一義「立腰」の教えから始まりました。

1. 「腰骨を立てる」

これは性根のある人間になる極秘伝です。そしてこの第一集の括りに「森信三先生も若き日に種子蒔かれた「立腰」が、生涯をつらぬく貴種となり、千変万化の人生を生き抜かれ、また次代後進の子弟へ多くの良種を遺されました。」とされています。「たねまき文庫」と命名された意味が読み取れる一文だと思いました。私はお世話人をさせて頂いている「四国中央読書会」で、これまでに三度「たねまき文庫」をテキストとして使わせて頂きました。一度目が読書会の一周年記念の会で「ハイッありがとうございます」第三十四集を選びました。これは「ハイッ」が素直で「ありがとうございます」が感謝の意味です。

会では輪読・感想の後に、寺田先生からご講演を賜りました。その際に先生は、たねまき文庫は三十分で読めて人にプレゼントしやすい。「分」と「才」に合っていると控えめに話され、五十冊まで作ると念願されましたが、この時先生は米寿を迎えられていました。この小さな冊子に込められた寺田先生の思いは今なお、学び続ける私達の傍らでいつも励まし続けて下さっているのだと思います。

次 月 告 知

◎日時

令和5年10月14日(土) 午後1時～

◎場所

大阪大学中之島センター10階

◎講師

織田 邦男 先生

◎テーマ

麗澤大学特別教授

ウクライナ戦争の教訓と日本の課題



◎経歴

防衛大学卒業後、航空自衛隊に入隊。戦闘機パイロットとなり、飛行隊長、飛行司令等を務める。元・空将。

◎戦争は先がみえていい。その戦い。混雑とする世界。そのしんて、今の日本は…

編集後記

皆様！第十二期ご入塾、誠にありがとうございます。継続して入塾された方、また今期から入塾された方！ようこそ人間学塾・中之島へ。今後、一年間、何卒、よろしくお願いいたします。素晴らしい講師の方、そして塾生の皆様とご縁に感謝です。

さて、卒業式は、久しぶりの大阪大学中之島センターで。すっかり変わり、そしてきれいになっていて驚きました。横には、美術館も建設されていて、まわりの風景も変わっていて、こちらもびっくりしました。

塾主催懇親会も久しぶりに開催。あのカフェテリアの大変身！大いに盛り上がりました。ところで、何度も何度もお願いしているように、このニュースは皆様のニュースです。皆様の原稿を頂きたく改めてお願い申し上げます。あの塾生はあいう面も！など交流の場ともなれと思います。編集長 西村俊幸

11月宿泊研修について

◎日程

令和5年11月11日(土)～12日(日)

◎場所

修養団伊勢研修センター(三重県伊勢市)

11月は宿泊研修です。皆様、今からご予約を！

お願い

①中之島ニュースは塾生・登録塾生の方用に作成しております。事務局・編集部が無断で転載や特にコピーなどを配布することは、ご遠慮ください。

よろしくお願いします。

②編集部アドレスは下記のとおりです。

事務局とは異なります！

感想文・文集・投稿等はこちらに↓お願いします！

2012nakanoshima@gmail.com